

秋に繁殖する魚

ようやく暑い夏も終わり、あちらこちらから「収穫の秋」の話題が届くようになりました。北海道や東北地方の川では、サケが産卵のために川に上り始めたというニュースが流れる時期です。

多くの魚は、春から初夏に産卵しますが、なかには秋に産卵する魚もいます。

この東海地方にも住んでいるアユやアマゴ、そして天然記念物のイタセンパラも秋に産卵する魚の代表です。アユは秋に河川の下流で産卵し、ふ化すると海に下ります。稚魚は冬のあいだ、伊勢湾・三河湾の沿岸域で過ごし、翌年の初夏にまた川を上り始めます。アマゴは川の上流域で産卵し、ふ化した稚魚は川底の砂利のなかで冬を越し、翌年の春に泳ぎだします。二枚貝に卵を産み付けるタナゴの仲間のイタセンパラも秋に産卵します。卵は一冬、二枚貝のなかで過ごし、翌年のゴールデンウィークごろに貝のなかから泳ぎだします。

これらの魚は、一斉に生き物が活動し始める時期をはずし、外敵の少ない秋から冬に安全に成長するというしたたかな戦略で生き残ってきました。しかし、これらの種は卵や稚魚の時期が長く、ちょっとした環境変化の影響を受けます。私たち人間の活動が、彼らの生活の邪魔にならないよう見守り続けたいものです。



△産卵間近なイタセンパラの雌雄

375で交わす 夫婦の会話 川柳募集



優秀作品を
冊子にします

普段の会話や何気ないやりとり、普段は言えないお互いの本音を575で伝えることで、夫婦の大切さを感じ、きずなを深める企画です。応募は未発表作品に限り、作品は返却しません。著作権など一切の権利は市男女共同参画推進委員会に帰属します。

昨年度特選作品

妻「幼子を パパに任せて クラス会」

夫「イクメンの ウデ試される 妻の留守」



対象 夫婦

部門 結婚年数25年以下の部、26～40年の部、41年以上の部

申込み 11月30日(月)までに地域協働課ホームページよりあいち電子届出システムで入力または応募用紙を持参、郵送、FAXで地域協働課地域協働係(〒447-8601 松本町28、FAX41-5412)

※以下のQRコードからも携帯電話などを利用して応募できます。



◀携帯電話
用



◀スマート
フォン用